



細川 幸男 議員 (無党派)

一括質問方式

【その他の質問】

○幼児教育について。旧遠野市は保育協会に移管。旧宮守村の現状は。

問..... 庁舎建設そのものには市民は理解しても、市の人口が減少する時代背景では、市の税収も少なくなり、市財政を心配する市民からいろいろの声が届いている。市庁舎移転計画に對し、市民の声として、移転後の仲町や市街地、地域の活性化政策の具体策を示してほしい、中町の活性化に協力するため、事務所開設計画の参考にするために、仲町地区の坪当

たり買取価格単価はどれ程であったのか、個人別にはプライバシーの問題もあり、無理にしても、全体の平均単価等は、市民の皆さんには積極的に、公開義務を果たしていただきたい。等々の市民の声が聞こえる。詳細については、担当課には事前に伝えているので、予算特別委員会で詳しくお尋ねするとして、新庁舎に係る中町の土地買取坪単価について尋ねる。

答..... 新庁舎建設資金は、本来、直接被害地ではないが、復興特別交付税が18億円ほど認められ、用地買取を公平公正に進めている。

問..... 市の特産物について、市の特産物と言えば、宮守ワサビや暮坪カブと言われるが、現状と今後の取り組み、さらに特産物に対する市長の基本理念を尋ねる。



市の特産物の推進は

ことばの教室・きこえの教室の今後のあり方について

問..... 『ことばの教室』は、ことばに悩みを持つ児童とその保護者を支援する教室。子どもの数が年々減少するなか、現行の『巡回指導教室』を含めた仕組みを継続するか。

答..... 対象児童がいるかぎり、継続していく。

問..... 『幼児ことばの教室』は、就学前の子どもの

ことばやきこえ、行動、保育などの相談や療育をする教室。保護者の通級と就業の両立を支えるために、土日に開設する考えは。 答..... 今年度を試行期間とし、『のびっこ教室』の定期開催のうち、月一回を日曜日開催にしている。日曜日は参加率が高く、より支援の幅が広がると考える。『幼児ことばの教室』に通う保護者の意向も伺いつつ検討する。

問..... ことばに悩みを抱えた子どもたちが、友達と同じように話せるようになるには、保護者同士、学校や幼稚園・保育園、地域の連携や協力も必要。より広い周知が必要では。

答..... 「通級が適しているのでは？」と思われるのも、保護者の都合で通級に至らないケースがある。啓発は確かに必要。『ことばを育む親の会』などと相談をし、検討していく。

問..... きこえの教育が必要な子どもの存在を把握した際、どのような手立てを講じるのか。『きこえの教室』開設の考えは。

答..... 視覚障害、聴覚障害、知的障害、自閉症・情緒障害など、特別な支援が必要な児童生徒に、常に保護者と共に考え、ニーズに応じた教育環境を提供してきた。この姿勢は今後も



鏡を見ながら舌の形を練習。「エッエッエー」

変わらない。『きこえの教室』への通級が必要なお子さんがいる場合には、速やかに教室設置ができるよう、県と連携する。また、幼児期から情報を得ること、指導教諭の計画的な養成も可能となる。子育て総合支援課と連携し、適切な対応をしていく。

※のびっこ教室とは... 心身において発達遅れが認められる就学前の児童に対する療育支援事業の一つ。



菊池 美也 議員 (政和クラブ)

一問一答方式



「〇月〇日〇よう日。これから、ことばのべんきょうをはじめます。」